



中期経営計画『こうぎん新創造 第Ⅰ期：変革』

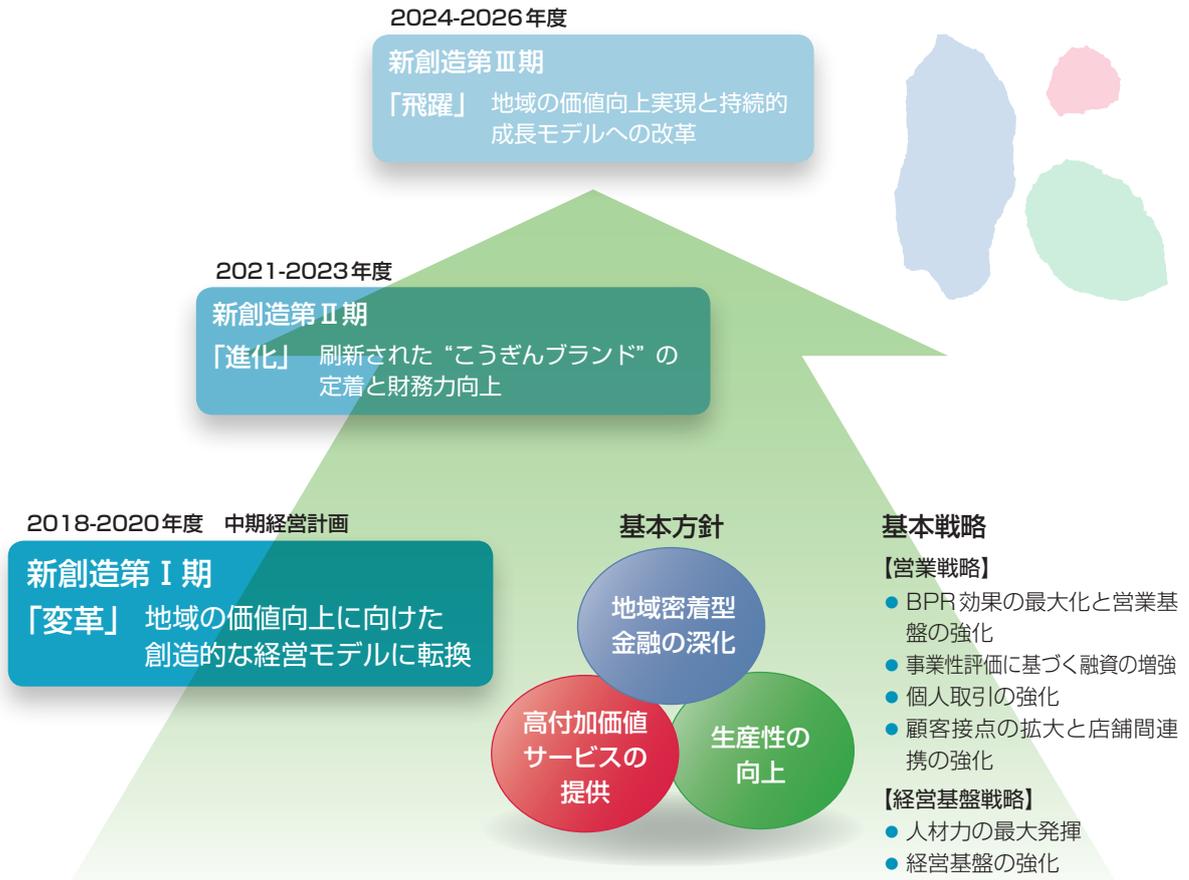
計画期間 2018年4月～2021年3月

10年後の目指す姿「地域の価値向上に貢献する金融インフラ」

～こうぎんの目指すベスト・リージョナル・コラボレーション・バンク～

- 地域密着型金融を深化させ、付加価値の高い金融サービスを提供することで、お客さまの価値向上をサポートする
- 地域全体の価値向上を提案し、その活動を支援する金融インフラとなる

中期経営計画



外部環境	国内	経済成長の鈍化 (GDP成長率1%弱) 人口減少 (生産年齢人口減少・減少率の地域間格差) 顧客接点・消費行動の多様化 (電子商取引の隆盛) 金融テクノロジーの高度化 (決済方法の変化、ビッグデータ活用) 金利スプレッドの縮小 (金融政策・競争激化)
	地域	顧客の世代交代 (事業承継・相続) 人材多様化と高度化要請 (多様な課題への解決提案) 資金需要の縮小 (事業者数減少・人口減少・トランザクションレンディングの勃興) 地域の労働生産性向上が課題
当行	経営理念	熱意：高知銀行は、限らない熱意をもって、地域の発展と暮らしの向上に貢献します。 調和：高知銀行は、調和のとれた経営をもって、お客さまの信頼に応えます。 誠実：高知銀行は、創意と誠実をもって、お客さまに奉仕します。
	経営目標	お客さまにとって……………役に立ち信頼される銀行 株主にとって……………健全で企業価値の高い銀行 地域社会にとって……………使命を果たし発展に貢献する銀行 職員にとって……………働きがいがあり夢と希望を実現できる銀行

中期経営計画の数値目標

2019年3月期 目標	2019年3月期 実績	2020年3月期 目標	2020年3月期 実績	2021年3月期 目標
----------------	----------------	----------------	----------------	----------------

主要計数目標

コア業務純益	1,957百万円	1,521百万円	1,940百万円	2,235百万円	2,423百万円
業務粗利益経費率	71.19%	73.16%	71.37%	72.53%	70.03%
当期純利益	15億円	9億円	15億円	12億円	16億円
自己資本比率	9.4%程度	9.60%	9.3%程度	9.25%	9.3%程度

地域密着型金融の深化

中小規模事業者等向け貸出残高	3,968億円	4,045億円	3,985億円	4,258億円	4,003億円
経営改善支援等の取組比率	4.83%	7.86%	4.92%	8.17%	5.00%

※コア業務純益（業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券関係損益）

※業務粗利益経費率（（経費－機械化関連費用）÷業務粗利益）